

教育センター だより 第89号

平成30年6月1日発行
佐野市教育センター
佐野市上羽田町1134番地1
電話(20)3108
(20)3048(相談専用)

『知力の基本』

佐野市教育委員会 教育長

岩上 日出男

『時間を守る』

ある学級の教科指導の先生が授業の開始時間に生徒がざわついていて授業が始まらないため、大声を出して教室を出て行ってしまったという話を聞いたことがあります。

時に、大きな声を出すことがあっても授業を放棄してしまう行為は、いかがなものかと思えます。

以前勤務していた学校では、全生徒がいつも授業開始3分前には着席し、授業の準備に入っているのです。上記のようなことはありません。生徒会会長選挙で、公約として掲げ、その提案に全生徒が賛同し伝統となり、今日にいたっています。その主体性と全生徒の協調性には敬服してしまいます。しっかりと「時間を守る」事ができている。当たり前と云えば当たり前なのですが、時間で始められると云うことは気持ちのいいものです。素晴らしい事です。

『期日を守る』

また一方で「期日を守る」と云うことも、人として重要な資質の一つとなります。

遅れる人は、いつも決まっています。締め切り日がある場合は、多くの場合、国なり県なり市なりのまとめが求められており、一人の提出が遅れることで、関係するより多くの方々に迷惑をかけ、差し障りが出てきます。

『一事が万事』

自宅の机の上が散らかっている人は、職場や学校の机の中やロッカーも、多分ぐちゃぐちゃです。私が言うので間違いありません。

家の玄関で靴をそろえていない人は、旅行に

行っても靴やスリッパをそろえることができません。宿泊学習では先生方の指導がありますからそろえられているとしても、先生方の目の届かないところでは疎かになっているはずですよ。

そういう人は、授業の準備がきちんとできず、宿題を忘れてたり忘れ物が多く、部活動の練習でも先生のいないところでは手を抜いています。

そういう人は、「ここぞ!」という大事なときに、筆入れやコンパス、スパイクやユニフォームなどを忘れてしまうのです。心当たりは、ありませんか?

『凡事徹底』



日常生活の中で「誰でもできる簡単なこと」だけでも「面倒くさくて、ついつい疎かにしてしまいがちなこと」をしっかりとやっていくことです。

以前、このセンターだよりでご紹介した「凡事徹底」での『立腰』は、お陰様で市内の全ての学校で定着してきており、先生方の話を聞く態度は大変よくなっています。

こうした、意識すれば誰でもできる「時間を守る」・「期日を守る」・「靴をそろえる」等なのがきちんとできることは、立腰と同じように人としての重要な資質であり、『知力』の基本となるものだと考えます。

授業を最大の仕事とする教師としては、大声を出して教室を立ち去り、授業を放棄してしまうのではなく、「時間を守る」・「期日を守る」等という、誰にでもできる凡事徹底を自ら心がけて生活することで、人は更に伸びるものであると論じ、導くことが肝要であると考えますが、どうでしょうか。

